

森 り よ う じ

森
が
動
く。



流山市議会議員

討議資料

広報9月号で特集したり、各地域でタウンミーティングを重ねながら、今後10年間のまちづくり方針を決める次期総合計画づくりが佳境に入っています。“自分が住みたい街の姿”を語り合う大切な機会ですので、皆様のご参加をお待ちしています！（議会報告会（11/9-10）でも取り上げます！）

令和元年10-12月号 森りようじリポート。(97号)

～ 森が動く、皆さんと一緒に動く。～

■第3回定例会ダイジェスト(9/5-10/7)

今定例会では議案24件が上程され、流山市議会らしい活発な議論が行われました。（裏面で特集）。

また副議長時代より議会運営委員会を通じて推進してきた議場の大改修が行われ、今定例会より供用開始となりました。その一つが県内初の本会議ネット中継での手話同時通訳配信機能（ワイプ画面）の導入です。

今後も議会が一丸となり“市民に開かれた議会”を目指して参ります。



■自らのまちは“自分たちで守る覚悟”

日々の訓練成果を競う実戦消防操法大会（9/29）が開催されました。昨年は雨天中止だったため2年ぶりの開催でしたが、3位の好成績を収めることができました！

近年、消防団の環境は大きく変化しています。とくに『成り手不足問題』は全国的な課題であり、当市でも定数50名を引下げました。ただし地域の安心安全に繋がる必要な組織ですので、仲間と共に消防団組織を盛り上げていきたいと思います。



■陳情・市民相談に応じています。※一部抜粋

- ① 自治会・NPO・スポーツ団体の活動をサポート
- ② 動物愛護活動の支援 ※仲間を募りながら活動中！

○1976年6月12日流山生まれ（43歳） ○家族：妻

※サラリーマン家庭（父はNTTに勤務）で育つ

流山市立新川小、流山市立北部中卒業

日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社（管理部ほか）

○2003年4月 流山市議会議員に初当選（2,692票）

○2011年4月 流山市議会議員二期目当選（4,508票）

○2015年4月 流山市議会議員三期目当選（5,830票）

○2019年4月 流山市議会議員四期目当選（8,961票）

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

森が動く。①

【決算審査議案を総括する】

今定例会は平成30年度決算審査を行う重要な議会でした。私は監査委員の立場として議会で審議される前に決算審査を行いました。その際は監査委員2名に対し、100名近い職員と向き合い審査を進めます。またその場を通じて各事業に対する指摘や要望事項を伝えることができるため、重要な機会にもなっています。

一般会計の決算を総括する。

平成30年度の決算は過去最大規模の561億円（対前年度比6.0%増）でした。また歳入（税収など）から歳出（支出）を引いた実質収支は14.8億円の黒字決算となりました。人口増や区画整理の進捗により市民税144.5億円（5.15%増）や固定資産税100.2億円（2.1%増）など、著しい成長の様子が伺えます。市債（借金）の累計発行額は増えましたが、その目的は新たな学校建設などであり、“未来への投資”という側面からも個人的には許容すべきものと考えています。

歳出は子育て支援や高齢者対策の強化など福祉の充実により民生費が246.2億円（12.4%）となりました。これは前述の市民税と固定資産税収分を合わせた金額に相当します。これをどのように見るかは判断の分かれるところですが、今後も増大していく見通しです。また議会からの要望として今後、大きな財政支出を伴うことが予定される



※今年5月に換地処分を公告

ごみ焼却施設建設、初石駅橋上化、消防本部庁舎の移転に向けて、積極的に基金へ積立（貯金）をした姿勢などを評価したことで認定（賛成）と致しました。

森が動く。②

【都市建設委員会が動く。】

報告が遅くなりましたが、前期2年間は都市建設委員会の所属となりました。主には道路、河川、公共交通機関や上下水道のインフラ整備

WebSite「森りょうじ」を検索！
また Twitter・Facebook も更新中！

を中心とした都市基盤の整備と、市民の生命財産を守る消防行政を担当します。人口増や高齢化の進展の中では救急医療体制や消防体制の強化を求める声が高まっており、この2年間で取り組むべき課題は数多くあります。

なお当委員会には6議案が付託。換地処分手続きを始めた西平井・鱈ヶ崎地域などの区画整理事業特別会計決算などを審議しました。

都市建設委員会の注目議案は？

平成27年度より統合した上下水道事業会計決算です。平成30年度は上水道から下水道会計に8億円の出資切り替えを行う政策判断がありました。これは公営企業会計ならではの取り組みと言えます。



また台風15号の際に県下の被災地（多古町・君津市）に提供した応急給水袋の質問がありました。市の計画では7万袋の在庫を目指すとのことでした（1枚約400円。2～3日分の飲料水保存が可能）。災害時の自助が求められる今日、予備知識として持ち合わせて下さい！（決算議案は認定）

森が動く。③

【その他の注目議案は？】

安心安全なまちの姿は？

人口増、地域の高齢化により火災・救急出動件数が増えています。そのような状況に応じるべく消防機関職員の定数を200人から222人に引き上げる条例議案を審議しました。

次期総合計画基礎調査では、市民の皆さまが“まちに期待すること”で一番高いのが「安心安全なまち（35.2%）」です。そのため今回の改正は前向きに捉えています。一方では今春の定例会で消防団定数を50名引き下げる議案を提出したばかりです。人口増加が続くまちづくりにおいて、消防組織を中心とした安心安全なまちづくりの姿をしっかりと描く必要があると思います。次期総合計画の中でも明確に位置付けたいところです。

【事務所】流山市中野久木 559-2
TEL & FAX: 7155-3236